



予算審査特別委員会報告書

3月5日予算審査特別委員会に付託された令和6年度小国町各会計予算案12件については、議長を除く全議員を委員とし6日から12日の間、各課の予算審査及び総括質疑を行い審査にあたった。

令和6年度各会計予算は、総額119億1千104万円、前年度比4.7%の増、一般会計予算は、次期総合センター建設事業などの投資的経費が増加し70億円、前年度比14.6%の増で平成25年度以来の70億円を確保する予算であった。

長期に及んだコロナ禍の影響から脱却し、日常的な生活と経済が活性化している中、本町の魅力を広く内外に発信するとともに、選ばれるふるさとを創っていく「白い森まるごとブランド構想」が一層推進されるよう期待する。また、物価の高騰や今冬の異常気象による影響は町内経済に大きな打撃を与えていることから、町内の現状を細やかに把握され、関係機関との連携により遅滞なく積極的な地域経済活性化施策を講じられたい。

本町における人口減少や少子高齢化がこのまま進むと、町の予算規模の維持が困難となり、その影響が町づくり全体に及ぶことが危惧される。こうした状況を踏まえ、施政方針の中に記載されている各種施策を着実に遂行し、持続可能な行財政運営にあたられることを強く望む。

令和6年度各会計予算12件については、次の意見を付して原案のとおり議決するものと決したので、小国町議会会議規則第41条の規定により報告する。

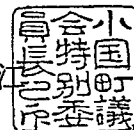
- 1 デジタルの力は過疎化が進行する自治体ほど必要となり、困難な課題を解決できる可能性が高いものとして期待されている。令和6年度予算においては基幹業務システムの標準化や統合型地理情報システム導入などが盛り込まれているが、それらを足がかりとして来年度以降も継続的かつ効果的なDXを推進されるとともに、全庁による横断的な取り組み、精度の高い事務執行につなげられたい。
- 2 人口減少、少子高齢化が加速するなか、町民一人ひとりが、住み慣れた地域でいつまでも安心して、自分らしく生きがいを持ちながら暮らすことができるよう、地域全体で助け合い、支え合う環境づくりが求められている。持続可能な地域の実現に向け、まちづくりパートナーシップモデル事業などを通じ、地域と行政がともに考え、力を合わせ活動する協働のまちづくりを実践されたい。

- 3 町立病院並びに介護老人保健施設においては、マンパワー不足の問題を抱えてその運営が不安視されてきたが、的確な現状分析に基づいた介護医療院への病床転換は、構造的な改善に繋がるものとして評価している。今後も環境の変化を見極めながら、安全安心な医療・介護サービスが継続されるよう努力されたい。

令和6年3月14日

予算審査特別委員会

委員長 間 宮 尚 江



小国町議会議長 安部 春美 殿